



学校だより

平成24年度 附属特別支援学校

5月号

風清らかな若葉の頃となりました。

新しい和附特の仲間が加わり、学習活動に、生活に、新たなスタートを切ってはや1ヶ月がたとうとしています。小学部の遠足や、高等部・中学部の修学旅行などの体験活動を通して、59人全員が和附特の仲間として楽しく学校生活を送っています。

さて、昨年3月11日の東日本大震災や9月の紀伊半島大水害など、大きな災害に見舞われ多くの尊い人命が失われたことから、防災へ意識向上と日頃からの備えが大変重要であることを痛切に知らされました。3月末、内閣府の南海トラフの巨大地震モデル検討会では、巨大地震による津波高等について、今までの想定を大きく上回る数字を発表したところ。 ([南海トラフの巨大地震による震度分布・津波高について \(第一次報告\) http://www.bousai.go.jp/jishin/chubou/nankai_trough/nankai_trough_top.html](http://www.bousai.go.jp/jishin/chubou/nankai_trough/nankai_trough_top.html))

これによると和歌山市・海南市は、最大で震度7、岩出市は震度6強の地震と、和歌山市で7.7m、海南市で8.1mの津波に襲われる恐れがあるとされています。

学校周辺の海拔は3m余りであるため、他の防災訓練に加え、地震と津波に対応する訓練を見直し、県立和歌山工業高等学校への避難訓練を追加したり、帰宅不可になったときのための防災用品・非常食等を準備したりしました。また、校舎屋上への避難を可能にする等の計画を立てています。

ご家庭でも、再度防災に関してお話しいただく機会を持ち、地域の避難場所(各市のHPで確認できます)や福祉避難所、避難経路の再確認を始め、防災グッズの点検、家族が別々の場所にいるときの合流場所や連絡方法の確認などを行っていただき、「正しく“恐れる”」備えとしていただければと思います。

硬直化した対応ではなく、その時々状況を的確に判断し、状況に合わせて柔軟な対応するとともに、防災の限界を超えるダメージに対して、パニックにならず「しなやかさ(レジリエンス Resilience)」を持つことも「災害後」を生きる重要な要素になってきます。この「レジリエンス」も、災害に負けない社会の在り方を示すキーワードとして今、注目されています。

「3.11」から1年あまりが経過した今、家庭と「私」の防災力・「レジリエンス」をあらためて確かめ合っていただければと思います。

副校長 亀井 晴史



*11日(金)は、授業参観ならびに育友会総会、教育後援会総会です。総会の資料は、子どもさんを通じて持って帰っていただきますが、一度目を通していただき、当日ご持参ください。

○5月行事予定

- | | |
|-----------------------|---------------------------|
| 1 (火) 体重測定 (高) 家庭訪問 | 14 (月) 週取り組み(高)~18日 心電図検査 |
| 2 (水) 体重測定 (小中) 家庭訪問 | 15 (火) 高等部修学旅行(沖縄)~18日 |
| 7 (月) 生徒会役員選挙 | 17 (木) 宿泊学習(中2)~18日 |
| 8 (火) (育) 保体部会 | 21 (月) 全校集会 眼科検診 |
| 9 (水) 尿、ぎょう虫検査(2次) | 23 (水) 中学部修学旅行(鎌倉・東京)~25日 |
| 11 (火) (育) 小学部会 | 24 (木) 宿泊学習(高2)~25日 |
| 給食試食会(新入生保護者希望対象) | 27 (日) 近附連・近附P連総会 |
| 授業参観 修学旅行説明会(中・高) | 28 (月) 日赤看護実習~30日 療育手帳更新 |
| 育友会総会 教育後援会総会 | |
| 13 (日) ふよう会・同窓会総会、懇親会 | |